

8 - 3 松山港周辺の海底地質構造

Submarine geological structure around the Matsuyama port and its adjacent area

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

1. 調査

本海域の調査は1997年11月に実施した。測線は南北方向に900m間隔とし、探査機としてスパーカー（1000J，200～1000Hz，発振間隔1秒）及びチャープソナー（2～7kHz，発振間隔1/4秒）を用いた。なお、本海域は国土地理院により音波探査がなされている（スパーカー及びソノプロープによる）^{1,2)}。今回の調査において測線を十分に設けることが出来なかった釣島水道，クダコ水道等の海域では，解析にあたって国土地理院による音波探査記録も用いている。

2. 結果

伊予灘では，伊予断層の延長に活断層が存在することが知られていた³⁾。今回の調査でも，伊予断層の延長に沖積層内でも変位の累積性をもつNNE - SSW走向の断層が確認された。伊予断層の北側にも，沖積層には変形が及んでいないものの，更新統と推定される地層に変形を及ぼしている断層がいくつか併走していることが明らかとなった。

なお，今回の調査では音波探査記録は得られていないものの，長浜町今坊の北，海岸から500m程度の沿岸部に，NNE - SSW 走向，深さm程度の小凹地（トラフ）が認められる。この凹地が沖積層に埋積されていないのは，地形の形成が新しいためであると推定され，断層の存在が予想される。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院：沿岸海域基礎調査報告書「松山北部地区」. 国土地理院（1971）.
- 2) 国土地理院：沿岸海域基礎調査報告書「三津浜西部地区」. 国土地理院（1971）.
- 3) 堤浩之・中田高・小川光明・岡村真・島崎邦彦：伊予灘北東部海底における中央構造線・活断層研究，8（1990），49-57．

第1表 層序区分と対比

Table.1 Stratigraphic Division and it's correlation.

瀬戸内海
松山港周辺

層序区分
Stratigraphic Division

時 代 Geological Age		陸上地質層序* Land Stratigraphy	音波探査層序 Acoustical Stratigraphy in the sea area	
第四紀 Quaternary	完新世 Holocene	沖積層 Alluvium 崖錐・扇状地堆積物 Talus and fan deposits	I-a I-b I-c	注1)
	更新世 Pleistocene	段丘堆積物 Terrace Deposits	II	注1)
		久万ノ台層 Kumanodai Formation 郡中層 Gunchū Formation	III	
新第三紀 Neogene	鮮新世 Pliocene	岡村層 Okamura Formation		
	中新世 Miocene	石鍵層群 Ishizuti Group	IV	
古第三紀 Paleogene	始新世 Eocene	久万層群 Kuma Group	V	
白亜紀 Cretaceous		和泉層群 Izumi Group	VI	
		領家花崗岩類 Ryōke Granitic Rocks	VII	
先白亜紀 Pre-Cretaceous		領家変岩類 Ryōke Metamorphic Rocks 三波川変成岩類 Sanbagawa Metamorphic Rocks	VIII	注2)

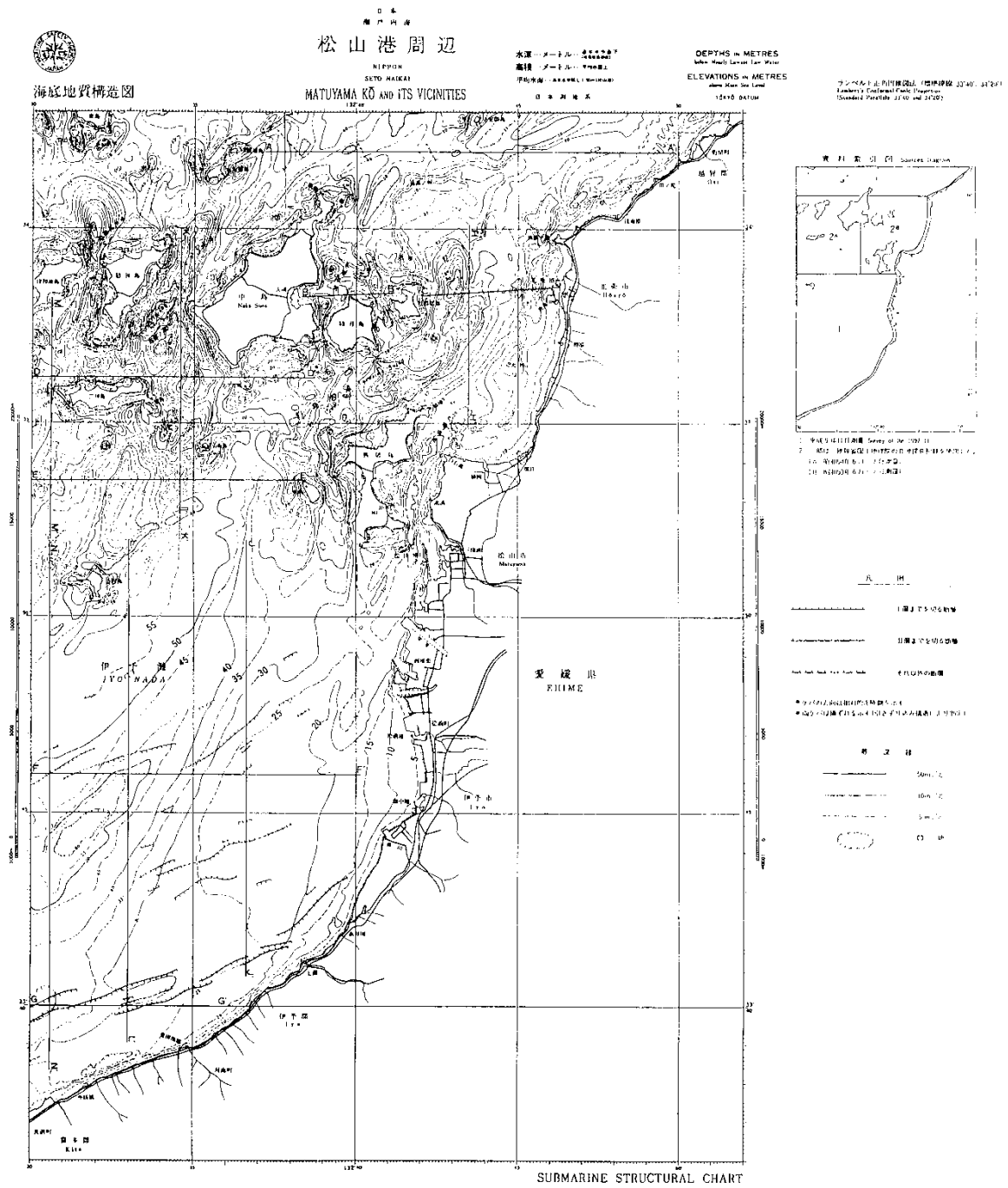
*須舘和巳・岩崎正夫・鈴木克士(1991):日本の地質8「四国地方」,共立出版株式会社,266p.
 桃井齊・鹿島愛彦・高橋治郎(1991):愛媛県地質図(1:200,000),地質図説明書,愛媛県地質図編集委員会,86p.
 水野清秀・岡田篤正・寒川旭・清水文健(1993):構造図8,中央構造線活断層系(四国地域)ストリップマップ(1:25,000)説明書,地質調査所,63p.
 Suyari,K.,Iwasaki,M.,Suzuki,T.(1991)Regional Geology of Japan Part 8 SHIKOKU.Kyoritu Shuppan CO.,LTD,266p.
 Momoi,H.,Kashima,N.,Takahasi,J.(1991)Explanatory Text of the Geological Map of Ehime Prefecture,Scale 1:200,000,Editorial Committee of Geological Map of Ehime Prefecture,86p.
 Mizuno,K.,Okada,A.,Sangawa,A.and Shimizu,A.(1993)Explanatory text of strip map of the Median Tectonic Line Active Fault System in Shikoku Japan, scale 1:25,000. Tectonic map series (8), Geol. Surv Japan, 63p. (in Japanese with English Abstract 2p).

注1)I層は最終氷期の最大海退期以後の堆積物をいう。

(I-C層は、更新統最上部を含む可能性がある)

注2)区分はしたが報告書には使用していない。

層相の記載は報告書にある。

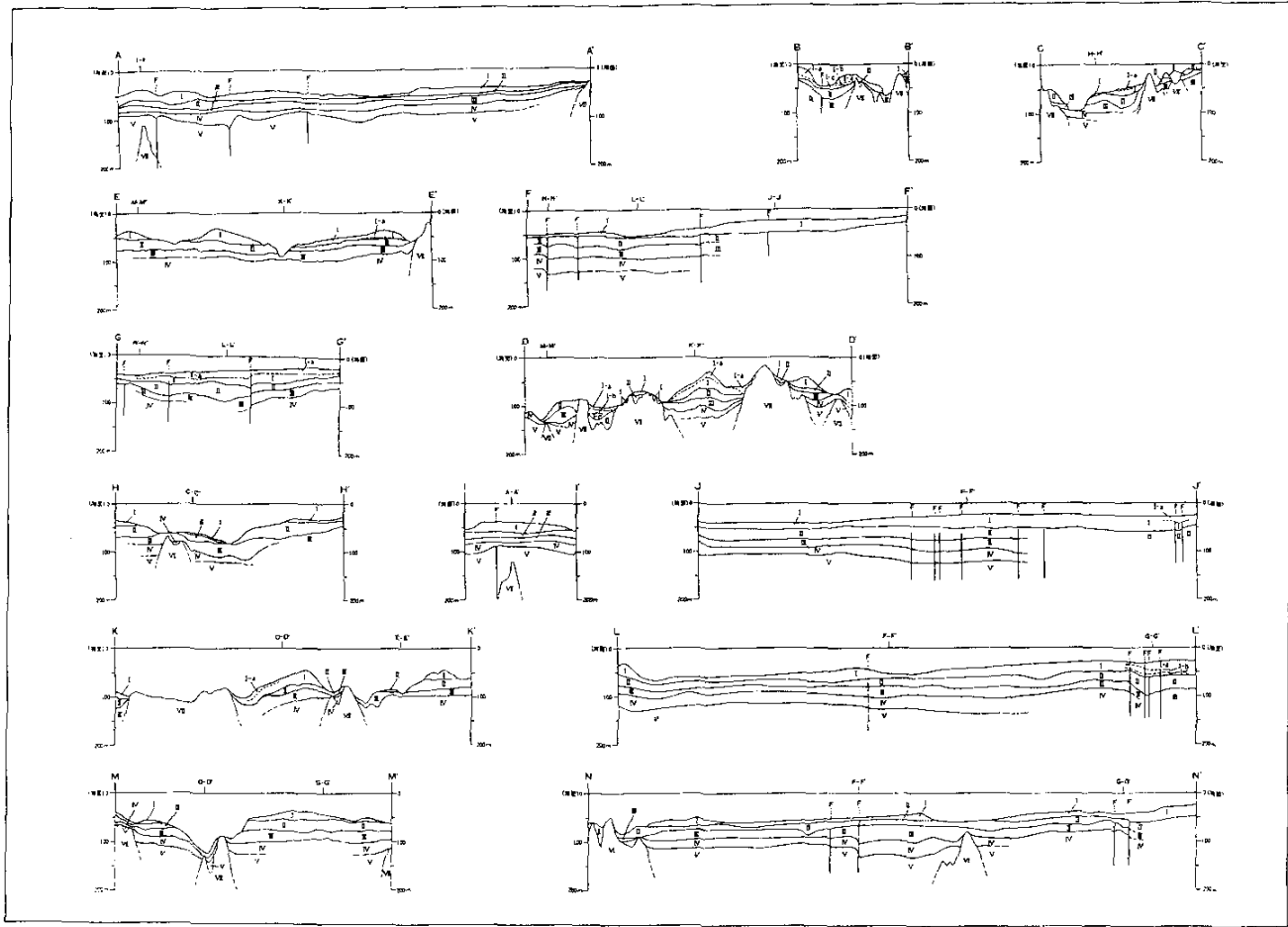


第1図 松山港周辺における断層分布

Fig.1 Distribution of submarine faults around the Matsuyama port and its adjacent area.

瀬戸内海
松山港周辺

地層断面図



第2図 松山港周辺における地質断面。断面の位置は第1図に示す。縦方向は20倍に拡大。

Fig.2 Geological profiles around the Matsuyama port and its adjacent arel. Locations of the profiles are shown in Fig.1. Vertical exaggeration is 20x.